

**2020 年度若手研究者海外発表支援事業
(ISSX JSSX 2020/35th JSSX and 23rd ISSX-NA Meeting)**

募集要項

日本薬物動態学会では、2020 年度若手研究者海外発表支援の一環として ISSX JSSX 2020/35th JSSX and 23rd ISSX-NA Meeting (<https://issxjssx2020.org/>)での発表支援を募集します。

1. 趣 旨

日本薬物動態学会は薬物動態学の将来を担う優れた国際的人材の育成を目指しており、国際化推進事業の一環として若手研究者の会員の国際学会における発表を支援します。

本支援事業は日本薬物動態学会の「国際対応基金」を効果的に活用し、若手研究者の会員の関連国際学会での参加・発表にかかる費用の一部を支援するものです。

薬物動態学領域の研究に意欲的に取り組んでおり、海外研究者との交流経験を生かして、日本薬物動態学会の活性化に寄与することが期待できる若手研究者の応募をお待ちしています。

2. 支援対象者

支援対象は、下記の要件を満たす薬物動態学領域の若手研究者とします。

- I. 日本薬物動態学会の会員
- II. 参加学会開催時（2020 年 10 月 4 日）に以下のいずれかを満たす研究者
 - ・ 大学院生もしくは 6 年制薬学部 5、6 年生
 - ・ 学位（博士）取得後 5 年以内の研究者
 - ・ 40 歳未満の研究者
- III. ISSX JSSX 2020/35th JSSX and 23rd ISSX-NA Meeting において、自身が発表する口頭・ポスター発表の演題登録、及び参加登録を完了した研究者（但し、参加費の免除を希望する場合は、申請時点における参加登録の必要はない（下記 4. を参照のこと））
- IV. ISSX JSSX 2020/35th JSSX and 23rd ISSX-NA Meeting において開催される New Investigator Forum Session and Breakfast（10/5 午前予定）へ参加する研究者

3. 支援予定者数

本事業での採用予定者は、約 30 名とする。

4. 支援費用

派遣に要する旅費・日当及び宿泊料、参加費として、一人当たり約 10 万円を支給する。もしくは、参加費を免除する。（参加費免除方法については決定次第お知らせします。参加費免除を希望する場合は、申請書の「その他」に「参加費免除希望」と記載していただき、演題登録のみを行い、参加登録をせず申請して下さい。）

5. 申請手続

本事業の趣旨に賛同し応募を希望する者は、「日本薬物動態学会 若手研究者海外発表支援 (ISSX JSSX 2020/35th JSSX and 23rd ISSX-NA Meeting) 申請書」に必要事項を記入し、推薦者（日本薬物動態学会正会員）の自筆署名、捺印の上、到着を申請者本人が確認可能な

手段（簡易書留やレターパックや宅配便）で日本薬物動態学会事務局宛に送付して下さい。

申請者本人の演題登録を証明できる書類を添付して下さい。証明書類の提出がない場合、選考対象外となります。また、申請書に不備がある場合は審査対象とはならない場合があります。

6. 申請書類提出期限

2020年7月7日（火）（必着）

7. 書類送付先

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

株式会社毎日学術フォーラム内

日本薬物動態学会事務局 「若手研究者海外発表支援事業」担当者

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

E-mail : maf-jssx@mynavi.jp

8. 採用決定時期

採用者は選考委員会で選考し、9月初旬頃に事務局から連絡します。なお、円滑な手続を進めるため、採用決定者は日本薬物動態学会事務局と緊密に連絡を取り合ってください。

9. 本事業で採用された方は、2020年10月31日までに、1) New Investigator Forum Session and Breakfast に参加した感想、2)発表や討論を通じて、今後の自分の研究活動に有益になると感じた点、3)他の研究者による興味深い・有益な発表演題を3題以内で簡潔に解説、4)薬物動態学会会員に伝えたいこと、5)学会会場や採用者本人が写っている発表の写真、海外研究者との写真などを盛り込んだ報告書（日本語で800~1000字程度）を日本薬物動態学会事務局へ提出して下さい。報告書は日本薬物動態学会のホームページで公開する予定です。

なお、学会や New Investigator Forum Session and Breakfast に参加しなかった場合や期限までに報告書が提出されなかった場合、支援金を返金していただくことがあります。

10. 派遣者の内数名には、別途、DMPK NEWS letter へ派遣内容に関する記事の執筆を依頼する予定です。

11. 選考に当たっては、発表要旨の内容の学術的価値や支援対象学会における本発表の意義、薬物動態学領域に対する貢献、学会参加期間、動態学会および関連学会における発表歴および受賞歴、等を総合的に考慮します。

応募者が多数の場合には、できる限り広い研究領域の若手研究者に機会を設けるため、同一研究室への支援集中は避けるようにします。